**分析の一例（認知と意識の間におけるズレについて）**

**◇問3と問1の対応づけ（一覧）**

|  |  |
| --- | --- |
| 問3 | 問1 |
| 女性の人権問題 | 職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う |
| 子ども | 中学生の携帯電話やｽﾏｰﾄﾌｫﾝの使用を親の判断で制限する |
| 高齢者 | 家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする |
| 障がい者 | 視覚障がい者との会話ではテレビや映画、風景などは意識して話題にしないようにする |
| 同和問題 | 結婚する際、興信所や探偵業者などを使って相手の出自を調べる |
| 外国人 | 同じﾏﾝｼｮﾝに住む外国人とは生活文化が異なり、日本語があまり話せないので、付き合わないようにする |
| HIV感染者ﾊﾝｾﾝ病回復者 | ＨＩＶ感染者やハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴をしない |
| こころの病 | こころの病のある人には関わらないようにする |
| 犯罪被害者 | 痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言う |
| ホームレス | 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る |
| 性的マイノリティ | 職場で同性愛者と席が隣になることを嫌がる |
| セクハラ・パワハラ | 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る |
| ｲﾝﾀｰﾈｯﾄによる人権侵害 | インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む |

**個別の人権問題の認知（問３）と個別具体の事象（問１）に対する考え**

（問３）　　　　（問１）

**※「問題がある」は、「問題があると思う」と「やや問題があると思う」の計**

〔子どもの人権問題〕

資料２－１

「人権問題についての情報・知識の入手経路」（問４）　との関係

個別の人権施策の「認知」（問５）　との関係

個別の人権施策の「評価」（問５）　との関係

１

〔高齢者の人権問題〕

「人権問題についての情報・知識の入手経路」（問４）　との関係

個別の人権施策の「認知」（問５）　との関係

個別の人権施策の「評価」（問５）　との関係

２

〔障がい者の人権問題〕

「人権問題についての情報・知識の入手経路」（問４）　との関係

個別の人権施策の「認知」（問５）　との関係

個別の人権施策の「評価」（問５）　との関係

〔同和問題〕

「人権問題についての情報・知識の入手経路」（問４）　との関係

個別の人権施策の「認知」（問５）　との関係

個別の人権施策の「評価」（問５）　との関係

〔ホームレスの人権問題〕

「人権問題についての情報・知識の入手経路」（問４）　との関係

個別の人権施策の「認知」（問５）　との関係

個別の人権施策の「評価」（問５）　との関係

３